

# 【KSKQ】 2018年3月号 No.195 あいえるらくがき帳



## 荒れる丸山さん。その理由は……？



○地域生活を支援する新たなサービス	2-3 P
○星に願いを～ライフハンドベル～	4 P
○ライフ・ポップ化計画！	5 P
○ウィルは2018年も「やってみよう！」	6 P
○フラッシュ・モブ、ついにストリートへ！	7 P
○！” # \$ % & ’ ( ) ~ = Δ ×	8 P
○あいえる協会に協賛頂いているお店のご紹介！！	9 P
○ほんわか～地域の暮らし～	10 P
○求人～地域でつなげる介助の輪～	11 P
○グループホームあいえる新年会	12-13 P

あいえる協会のホームページ

<http://aiel.or.jp/>

あいえる協会	検索
--------	----



こちらのQRコードからも  
アクセスできます



## ～地域生活を支援する新たなサービス～

今年度のまいどは一年間、地域生活に関わるサービスの現状や問題点などをお伝えしてきました。今月号は平成30年4月1日に施行される改正障害者総合支援法で新たに創設されるサービスの「自立生活援助」についてお伝えしていきたいと思っております。

自立生活援助とは…

### 〈対象者〉

障害者支援施設やグループホーム、精神科病院等から地域での一人暮らしに移行した障害者で理解力、生活力等に不安がある者等

### 〈支援内容〉

定期的に居宅を月2回以上訪問し、

- ・食事、洗濯、掃除などに課題はないか
- ・公共料金や家賃に滞納はないか
- ・体調に変化はないか、通院しているか
- ・地域住民との関係は良好か

などについて確認を行い、必要な助言や医療機関等との連絡調整を行う。

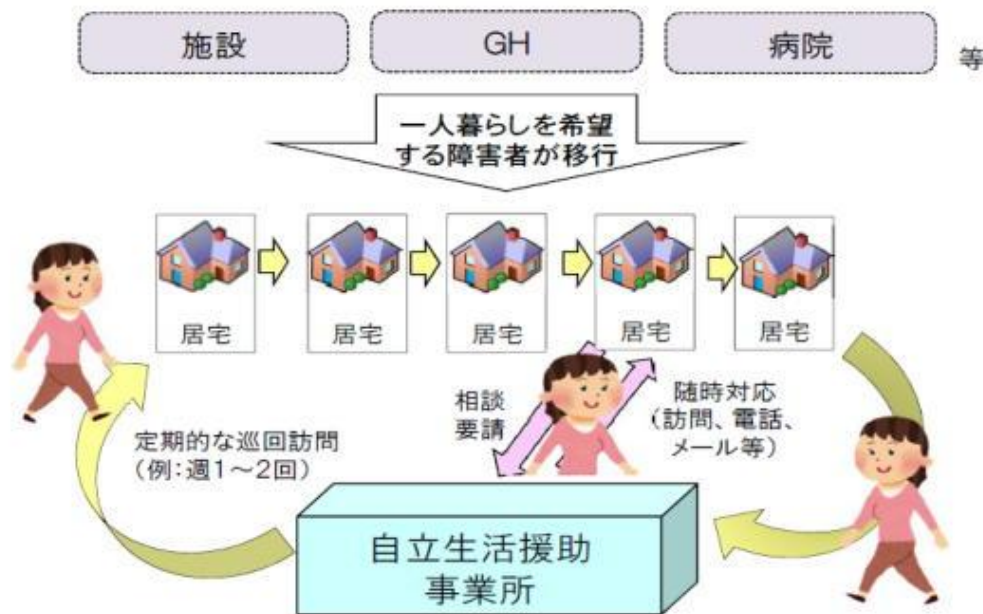


○定期的な訪問だけでなく、利用者からの相談・要請があった際は、訪問、電話、メール等による随時の対応も行う。

施設やグループホーム等から一人暮らしに移行していく障がい者の意思を尊重した地域生活を支援するため、一定の期間にわたり、月2回以上の定期的な訪問や随時の対応により、障がい者の理解力、生活力等を補う観点から、適時のタイミングで適切な支援を行うサービスとされています。



必要があればアドバイスをし、医療機関などへの連絡調整を行います。  
 そして、定期的な訪問が最大の特徴です。  
 それ以外にも利用者からのニーズがあれば、臨時の訪問・電話・メールなどによる対応も行います。  
 現状のサービス体系でも、地域移行支援、地域定着支援という地域相談支援給付の中で、長期入院、入所されている方の地域への移行や、単身や単身に近い生活をする障がい者の緊急時の支援という一人暮らしの支援制度がありますが、今回創設された自立生活援助はもっと支援の幅が広がり、緊急時以外にも利用できる制度になると思います。



基本的にはサービスの利用期間は一年間となっています。利用期間終了後も市町村審査会が必要と判断した場合には更新可能となるようです。  
 この一年間で、自立生活援助のサービス終了後に必要であれば、上記にもある地域定着支援を併せて利用していくことも可能です。

利用期間で設定されている一年間でそれらのこと全てを見極めていくことは難しいのではないかとと思いますが、今まで無かった障がい者の生活の細やかな部分をフォローするという点では可能性が広がる制度が創設されたのではないかと思います。

今後、この制度がどのような形で進んでいくのか、地域で生活する障がい者の実態にあった制度かを私達自身が見極めていかなければなりません。

ほし ねが  
星に願いを ~ライフハンドベル~

昨年12月22日に行われたあいえるの忘年会でライフのメンバーみんなで  
ハンドベルを使い「星に願いを」を演奏しました。

音楽療法の先生の提案から、忘年会でハンドベル演奏をしよう!という事になり、8月頃から練習が始まりました。



練習当初は曲とハンドベルとのタイミングがなかなか合わず、先生のアドバイスでテンポの取り方を工夫したり、歌詞を歌いながらと練習を重ねていくうちに段々とメンバー皆さんが納得いく演奏に仕上がっていきました。

忘年会も間近に迫ると、音楽療法では無い日もハンドベルのプログラムを取り入れ、本番さながらの練習をしてきました。

忘年会では練習の成果が出て聴いてる皆さんの心に残る演奏が出来たと思います。



☆演奏し終わった後のメンバー皆さんの顔は一番星の様に輝いていました☆

# ライフ・ポップ化計画！

製品作り・販売を中心に、音楽療法や、スポーツ、クッキングなど様々なプログラムを実施しているライフ・ネットワークですが、昨年12月から、「飾り作り」という新しいプログラムが始まりました！

四季おりおりの季節にちなんだものや行事のカラフルな絵を描き、それをライフ・ネットワークの玄関や窓などに飾っていくというプログラムです。

初回12月のテーマは、クリスマス☆

サンタさんや、ケーキやツリー、雪だるま、クリスマスプレゼントなどカラフルな作品が、たくさん出来上がりました。

続く1月のテーマは、お正月☆

門松やコマに加え、戌年という事でワンちゃんの絵などがたくさん出来上がりました(^^)

そして、2月のテーマは節分☆

福豆や、恵方巻き、ユーモラスな鬼や迫力のある鬼など、みなさん思い思いイメージしながら作ったカラフルな飾りが出来上がりました！



今後も季節にちなんだ飾りを作り、ライフ・ネットワークの外観がカラフルに、にぎやかになっていくのが楽しみです。

さて、3月はどんなテーマで、どんな絵が飾られるでしょうか？

近くにお越しの際は、ぜひ、ご覧ください☆

# ☆ウィルは2018年も「やってみよう！」☆

2018年も1ヶ月がたち、気がつけばもう2月。  
今年も健康第一で楽しい1年になればと思います。



私たちがウィルも新年を迎え、メンバースタッフ全員  
今年の抱負や、やってみたいこと、なりたいもの  
など思いを絵馬に書いていきました。

普段はなかなか言葉に出すことが苦手な方も、みんな  
と一緒に書いたり色塗りすることで素直な気持ちを  
絵馬に込めて書いていたことが印象的でした☆

また、運動をみんなで楽しくやりたい！という  
ことで、ふうせんバレー（右の写真）

（通称：アタックNo1プロジェクト）をスポーツ  
センターでライフ・ネットワークと合同で行いま  
した。これまでに2回行いましたが、ふうせんを触  
るとき、普段の生活以上に身体がこんなにも動く  
の??とみんなの動きに驚かされています！  
ふうせんバレーは大会もありますが、まずは、運動  
を楽しむことを重きにし、みんながどうすれば参加  
できるかを考えてやっていきたいです。



2月はバレンタインデー、3月はひな祭りなど季節のイベントも多くあるので、  
みんなが大好きな調理実習を通して食べることの楽しさや、普段の生活で食事  
メニューの一つになれば言うことなしだと考えています。

今年もウィルとしては、「地域の皆さんとの  
つながり」と「メンバーの皆さんの楽しみ、  
やりがいづくり」「なかま作り」をより深め  
ていくために、さまざまなプログラムを考  
えて、みんなと一緒に「やってみよう」の  
精神でチャレンジしていきたいです！



【右の写真は交流スペース「みんなのぬくぬく」のみんなで集合写真☆  
毎月第3水曜日（祝日除く）13：30～15：30開催】

# フラッシュ・モブ、ついにストリートへ！

11月23日の『ポジティブ文化交流祭』に続き、1月26日にもフラッシュ・モブ（前触れ無く突然行われるパフォーマンス）を実施しました。

前はステージで行いましたが、今回は正真正銘路上でのパフォーマンス。利用者はもちろん、スタッフもドキドキしながらこの日を迎えました。



舞台は長居公園前の長居駅出入口付近。まずはマイクアピールで趣旨を説明します。相模原事件が風化するおそれがあること、障害者も地域で生きていることをアピールしました。



11月に引き続き、「19の軌跡」と「手のひらを太陽に(あいえるバージョン)」を披露しました。

フラッシュ・モブというよりは路上パフォーマンスに近くなったり、大通りなので車の音にかき消されたり、傍から見ると何をやっているかよく分からなかったり……課題は残りましたが、まずは実施することが出来て良かった、と思うことにします。

相模原事件が風化しないよう、事件が起きた起きた7月26日に合わせ、毎月26日に行く予定です。

※今回のフラッシュ・モブは、警察署へ届け出を行った上で実施しています。  
文責：森嶋